

第52回全国サイクリング クラブラリー **plus** in 遠津淡海・天竜

募集中!!
開催要項
ご案内

The 52nd National Cycling Club Rally **plus** in Lake Hamana & Tenryu

2023年10月7日(土)~8日(日)



2023年3月 【正規版】

主催 全国サイクリングクラブラリー連絡協議会

主管 鈍亀サイクリングクラブ



<https://www.dcc-web.com/>



当日の緊急連絡先：工藤 (090-3047-3430)、室井 (090-1404-4555)、本田 (090-3510-5015)

はじめに



鈍亀サイクリングクラブ
会長 工藤 銃也

ご挨拶

皆さま、こんにちは。

私たちのクラブが第 34 回全国サイクリングクラブラリーを開催して 20 年の歳月が経ちました。第 34 回は、丹沢湖の畔にある公営宿舎に集まって頂き、楽しい時間を皆さまとご一緒に過ごすことが出来ました。まことにありがとうございました。

今回のフィールドは、徳川家康が人生の 3 分の 1 を幼少時代「竹千代」として過ごされた故郷駿河の国をご用意させて頂きました。ここ、遠津淡海を基軸(終点)として天竜区・天竜川沿いは、天竜美林とも呼ばれ、スギ、ヒノキの名産地となっております。宿泊地の「THE HAMANAKO」は、地下 500 メートルから湧出する自家源泉の『雄踏(ゆうとう)温泉』を引いた露天風呂を愉しめば、ツーリングの疲れもそっと癒され、のんびりとした時間をお過ごし頂ければと思います。と同時に、皆さま方の活力あるエネルギーを自然に融和させ、昨今、多様化されたサイクリングと語らいの場を、お時間とともに共有したいとも願っております。ただ、残念ながら昨今のコロナ禍の影響によって、規制緩和されつつありますが運営自体は以前のような状況には戻れませんが、皆様方のご理解とご協力も併せてお願い申し上げます。

また、第 50 回をもって事務局が閉鎖されたことにより、主管クラブが事務局の立場を兼ねることになっております。将来の第 60 回、第 80 回、第 100 回に向かって継続すべきとの声が多いことから、このクラブラリーの事務局は主管クラブが担っており継続されてきています。その一方で、クラブ会員の高齢化から会員減少問題を抱えるクラブも増えており、主管担当が不可能という声も増えております。これらの事情を踏まえて、弊クラブでは小人数の会員でも担当出来るようなクラブラリー運営を目指すことで取り組んでいます。具体的な実現方法の内容等に関して本要項の巻末にアンケートとして取り上げております。皆様方からのご意見をお待しておりますので、よろしく願いいたします。

では、10月7日(土)~8日(日)にて再会出来る事を楽しみにしております。また、皆様が安心・安全に参加していただくよう努めてまいりますので、ご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

以上



目 次

1. 開催要項.....	2
1.1 開催期日.....	2
1.2 開催地(遠津淡海・天竜).....	2
1.3 主 催.....	2
1.4 主 管.....	2
1.5 募集人員.....	2
1.6 日程(スケジュール).....	2
1.7 参加費(基本は4人部屋となります).....	3
1.8 申込締切.....	3
1.9 申込先・方法.....	3
1.10 送金先.....	3
1.11 その他.....	4
2. 開催地周辺のご案内 (フィールド).....	5
2.1 遠津淡海エリア(コース概要は附属書をご参照下さい).....	5
2.2 天竜区エリア(コース概要は附属書をご参照下さい).....	5
3. 開催地周辺の見処と寄り処.....	6
3.1 遠津淡海エリア.....	6
3.2 天竜区エリア.....	7
4. 附属書(参考資料).....	9
4.1 浜名湖一周ライド.....	9
4.2 グラン・ハマイチコース▶走行距離：120km.....	12
4.3 天竜グラベルコース▶走行距離：50km.....	13
4.4 天竜サイクルツーリズムコース▶走行距離：70km.....	14
4.5 天竜区周辺案内図と走行コース(例).....	15
4.6 天竜区周辺案内図と走行コースプロフィールマップ.....	16
4.7 第52回全国サイクリングクラブラリー アンケート用紙.....	17

※道路交通法（第63条の11）の変更点

【自転車の運転者等の遵守事項】（改定後：2023年4月1日～）

1. 自転車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない。
2. 自転車の運転者は、他人を当該自転車に乗車させるときは、当該他人に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。





1. 開催要項

1.1 開催期日

2023年(令和5年)10月7日(土)～8日(日)【雨天決行】

1.2 開催地(遠津淡海・天竜)

-1. 宿舎

DAIWA ROYAL HOTEL「THE HAMANAKO」
☎431-0101 静岡県浜松市西区雄踏町山崎4396-1



053-592-2222



053-592-5522



アクセスは裏表紙をご参照下さい

-2. 宿舎設備

- 部屋は基本的に4人部屋です。(ツインベット+エキストラ+ソファ)
- 各部屋にはフェイスタオル、バスタオル、歯磨きセット、浴衣、スリッパがあります。
- 自転車は、2階ロビー付近に収納(施錠付)しますが、希望者により各部屋(2人以下のご使用の場合)に持ち込み可能です。

1.3 主催

全国サイクリングクラブラリー連絡協議会 (旧名称)

1.4 主管

鈍亀(ドンキー)サイクリングクラブ、DCC / Donkey cycling club

☎246-0031 横浜市瀬谷区瀬谷4-39-25



045-453-8075

1.5 募集人員

100名ほど

1.6 日程(スケジュール)

10月7日(土)	15:00-17:00	受付	
	—	(入浴)	(12時～24時)
	17:00-17:45	クラブ代表者会議	(またはラリー責任者)
	18:30-20:30	懇親会	
	20:30-22:30	二次会	
10月8日(日)	—	(入浴)	(5時30分～10時)
	06:30-08:30	朝食	
	08:45-09:15	集合写真撮影	写真撮影後、自由解散
	～11:00	解散	最終チェックアウト





1.7 参加費(基本は4人部屋となります)

部屋タイプ	参加費(お一人様)	補足
基本(4人部屋)	¥15,000	クラブ単位もしくは相部屋(洋室・和室)
トリプルの時	¥16,000	¥1,000 アップ(同タイプを3人で使用)
ツインの時	¥17,000	¥2,000 アップ(同タイプを2人で使用)
シングルの時	¥20,000	¥5,000 アップ(同タイプを1人で使用)

参加費は、ご希望の部屋タイプにより異なります。

※基本(4人部屋): 洋室 (ツインベット+エキストラ+ソファ) または和室となります。

備考1 本クラブラリー参加費にはホテル宿泊代+クラブラリー費用が含まれております。

備考2 キャンセルポリシーにつきましては、ホテル宿泊約款により、宿泊代からキャンセル料と送金手数料を差し引いた金額を払い戻しいたします。

1.8 申込締切

2023年8月31日(木)迄

但し、申込者数が募集人員に達した時点で期間終了となります。

1.9 申込先・方法

別紙「第52回全国サイクリングクラブラリー plus in 遠津淡海・天竜申込書」に必要事項をご記入の上、同書に記載された方法にてご送付をお願い致します。

クラブ代表者会議・テーマ(ミーティング時)等あればご記入をお願い致します。

なお、同時にアンケートへのご記入もお願い致します。

1.10 送金先

8月31日までに、下記「ゆうちょ銀行(ドンキサイクリングクラブ)」の口座にお振込み下さい。恐れ入りますが、お振込み手数料はご負担頂きますようお願い致します。

(現金書留送金をご遠慮下さい。)

▶ゆうちょ銀行以外から振込される場合:

【店名】〇二八(ゼロ二八チ)

【店番】028

【預金種目】普通口座

【口座番号】9349276

▶ゆうちょ銀行から振込される場合:

【記号】10250

【口座番号】93492761





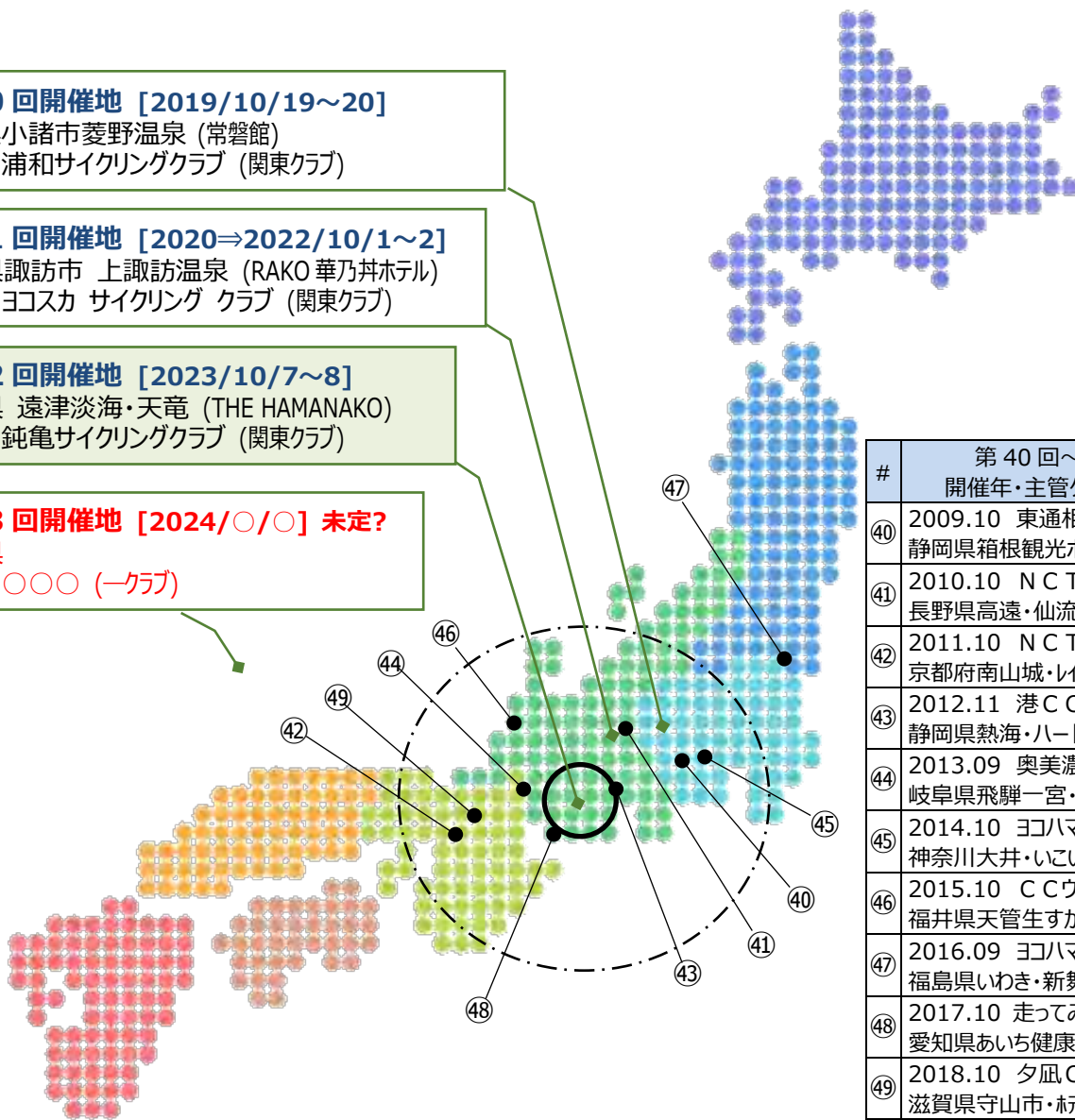
1.11 その他

- (1) 連絡協議会の廃止に伴い、これまで連絡協議会の所属クラブ（参加クラブ）が負担していた事務経費(1クラブ当たり年間¥2,000-)の徴収は終了する。
- (2) 非クラブ会員のサイクリストも参加可能とする。

なお、第52回クラブラリーに参加して頂ける近辺のクラブまたは非クラブの方へ、ご紹介させていただきたくよろしくお願い申し上げます。

■ 本大会及び過去の開催地 (第40回～第51回)

- **第50回開催地 [2019/10/19～20]**
長野県小諸市菱野温泉 (常磐館)
主管：浦和サイクリングクラブ (関東クラブ)
- **第51回開催地 [2020⇒2022/10/1～2]**
長野県諏訪市 上諏訪温泉 (RAKO 華乃井ホテル)
主管：ヨコスカ サイクリング クラブ (関東クラブ)
- **第52回開催地 [2023/10/7～8]**
静岡県 遠津淡海・天竜 (THE HAMANAOKO)
主管：鈍亀サイクリングクラブ (関東クラブ)
- **第53回開催地 [2024/○/○] 未定?**
○○県
主管：○○○ (一クラブ)



#	第40回～第49回 開催年・主管クラブ・開催地
④0	2009.10 東通相模CC 静岡県箱根観光ホテル
④1	2010.10 NCTC 長野県高遠・仙流荘
④2	2011.10 NCTC京都 京都府南山城・レイクホルストリゾート
④3	2012.11 港CC 静岡県熱海・ハートピア熱海
④4	2013.09 奥美濃CC 岐阜県飛騨一宮・臥龍の郷
④5	2014.10 ヨコハマCC 神奈川県大井・いこいの村あしがら
④6	2015.10 CCウインディ 福井県天管生すかつとランド九頭竜
④7	2016.09 ヨコハマミナトCC 福島県いわき・新舞子ハイツ
④8	2017.10 走ってみる会名古屋CF 愛知県あいち健康プラザ
④9	2018.10 夕凧CC 滋賀県守山市・村琵琶湖プラザ





2. 開催地周辺のご案内 (フィールド)

今回のラリーでは、主管クラブが主催するサイクリングは実施しませんが、弊クラブから以下の各エリア・ホテルを基軸として様々なオススメの基本コースを紹介します。これらのコースは、各クラブのラリー初日、2日目でライドプランをしていますので、2日目は関東・中部方面からの参加者の場合、宿舎を出発して記載の逆コースを走って新幹線の米原駅又は京都駅に向かって走れば連続したコースの走行が可能です。コースはあくまでも基本のコースですので、各クラブに於いてオプションで名所旧跡を追加頂ければひと味違ったコース作りが出来ると考えております。

なお、走行例はあくまでも例であってモデルコースではありません。各クラブに於かれましては、走行例に拘らず自由に走りたいコースを決定されて自由にサイクリングを楽しまれることを願っております。また周辺案内図は自製のため、地図の精確さがイマイチです。走行ルート決定並びに自走にあたっては、予め5万分の1地形図或は2万5千分の1地形図に基づいて走行ルートの情報を調べておかれることをお勧め致します。(道路情報は、各地区それぞれの道路事務所にお尋ねください)。

2.1 遠津淡海エリア(コース概要は附属書をご参照下さい)

- 1. 浜名湖一周ライドハマイチコース
- 2. ハマイチ・バイパスコース
- 3. ハマイチ・グリーンコース
- 4. ハマイチ・ブルーコース
- 5. グラン・ハマイチコース

2.2 天竜区エリア(コース概要は附属書をご参照下さい)

- 1. 天竜グラベルコース 天竜区サイクリングコース
- 2. 天竜サイクルツーリズムコース 北遠縦貫コース
- 3. 天竜区周辺案内図と走行コース 井伊家ゆかりの地を巡るなど

■ 参考観光協会HP

公益社団法人 静岡県観光協会 <https://hellonavi.jp/detail/page/detail/35692>

一般社団法人 自転車協会 https://www.sbaa-bicycle.com/sbaa_sp/course/hamanako.html

浜松市役所 <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/tn-machi/cycling/index.html>

<https://ridewithgps.com/routes/31919173?lang=ja>



3. 開催地周辺の見処と寄り処

3.1 遠津淡海エリア

-1. 浜松城跡・・・浜松市役所隣、浜松城公園の中にある。築城は徳川家康ではないが、武田信玄の侵攻に備えるために本拠地の岡崎城からここに入城し、城域の拡張や改修を行い城下町の形成を進めたと言われています。(野面積みの石垣で有名)

-2. 鰻処・・・浜名湖と言えば鰻。今回の走行例コース上にもうなぎ屋を見ることが出来る。天浜線知波田駅を挟んで 2 軒のうなぎ屋がある(炭焼うなぎ五條、炭火焼うなぎ山栄)。同じレベルなら横浜で食うより 1,000 円位安いかな、が浜っ子の食後感であります。

-3. 本田宗一郎ものづくり伝承館・・・ホンダの創業者、本田宗一郎がここ二俣町の出身である。本田の礎となった自転車外付けスタイルのバイクエンジンも展示されている。詳細は下記ホームページを；<https://honda-densyokan.com/> この伝承館の隣には、信康廟のある清瀧寺があります。(二俣城址参照)



-4. 二俣城址・・・徳川信康(徳川家康の長男)が切腹した城として名を知られている。後年、家康が近くの清瀧寺に信康廟を建てその霊を慰めている。城址周辺は公園となっており、本丸の城壁も残っています。

-5. 転車台・・・天浜線天竜二俣駅には転車台が動態保存されている。また S L (蒸気機関車) への給水用に使われていた高架給水塔も保存されている。これらは駅構内にあり、見学は有料となっている。また見学時間も限定されているので見学される場合は事前に調べておく必要があります。この天浜線はかつての国鉄二俣線であり全線非電化区間であった為 SL が走っていた。現在はこの SL に代わり気動車による運転となっています。

このため、転車台のデモンストレーションに使われているのが、これらの気動車であるが、少し興ざめであります。



3.2 天竜区エリア

- 1. 道標「月まで3Km」・・・国道152号線から県道360号線が分かれた所に立つ道路標識。

その表示文字から隠れた記念撮影スポットになっている。



- 2. 夢の架け橋・・・国鉄時代建設されていた佐久間線の船明駅と相津駅間の第2天竜川橋梁として工事が進められてい



たが1980年財政悪化

の理由で中止となった。残された橋桁4基を再利用する形で2000年に歩行者・自転車専用の橋として、道の駅「花桃の里」開設に併せて整備された。

- 3. 秋葉（あきは）神社・・・秋葉山本宮秋葉神社は、標高885mの秋葉山をご神山と仰ぎその頂上付近に創建された。火防(ひよけ)の神様として有名であり、かつ家康ゆかりの神社としても有名である。

- 4. 道の駅「花桃の里」・・・自然豊かで風光明媚な道の駅として売り出している。食堂が併設されているので便利。詳細は； <https://hanamomo-sato.com/>

- 5. 遠州森・・・土蔵や遠州瓦の家が立ち並び遠州の小京都と言われている。かつては、火伏の神「秋葉山（あきはさん）」へ通じる秋葉街道の宿場町として賑わい、今も街道脇の格子戸の町家や路地裏の土蔵にその時代の名残を見ることが出来る。今は、『遠州の小京都を自転車で走り抜けよう』との森町によるキャンペーンが行われている。

<https://www.mori-kanko.jp/cycling/index.html>

- 6. 獅子ヶ鼻公園・・・水成岩からなる巨岩奇石の外観がこの名前の由来になっている。

- 7. 佐久間（さくま）ダム・・・高さ155mの重力式コンクリートダムです。戦後日本の経済復興を象徴する大事業、当時の日本最大のダム建設であり、かつ僅か3年4ヶ月という（当時としては大変短い）工期で完成された等、多くの話題を呼び記録映画も作成され、完成時には記念切手も発行されました。





建設の様様を記録した映像を、以下のサイトで観ることが出来ます。

<http://www.kagakueizo.org/movie/industrial/9728> 第一部

<http://www.kagakueizo.org/movie/industrial/9748> 第二部

ダム建設にともなって出来た人造湖は佐久間湖と命名され、ダム湖百選に選ばれています。

ダム面積も広く、静岡県、愛知県、長野県の3県にまたがっているため、これも珍しいことであります。

- 8. 秋葉（あきは）ダム…高さ89mの重力式コンクリートダム。上流にある佐久間ダムの放流水を調整して下流の水量を平均化する逆調整池としての役割も持つ。秋葉湖はこのダムによって形成された人造湖である。またダムの名前、秋葉湖の秋葉は秋葉山から取られている。また、ダムサイトには約1,000本の桜が植えられ桜の名所ともなっている。

- 9. 船明（ふなぎら）ダム…高さ25mの重力式コンクリートダム。天竜川の最下流にあるダムである。世界最大級のローラーゲートを9門備えていることが特徴である。このダムによって形成された人造湖の名前は、船明ダム湖と名づけられている。この船明ダム湖には、穏やかな水面で風・波や流れがほとんどない、都市部に比較的近い、湖面が広くかつ長い直線コースが複数取れる（2000m×6コースは東海地方では唯一、日本国内でも有数）等の理由で「天竜漕艇場」が設けられている。インターハイや国体の会場としても使用されており、東海地方における漕艇競技のメッカとなっている。

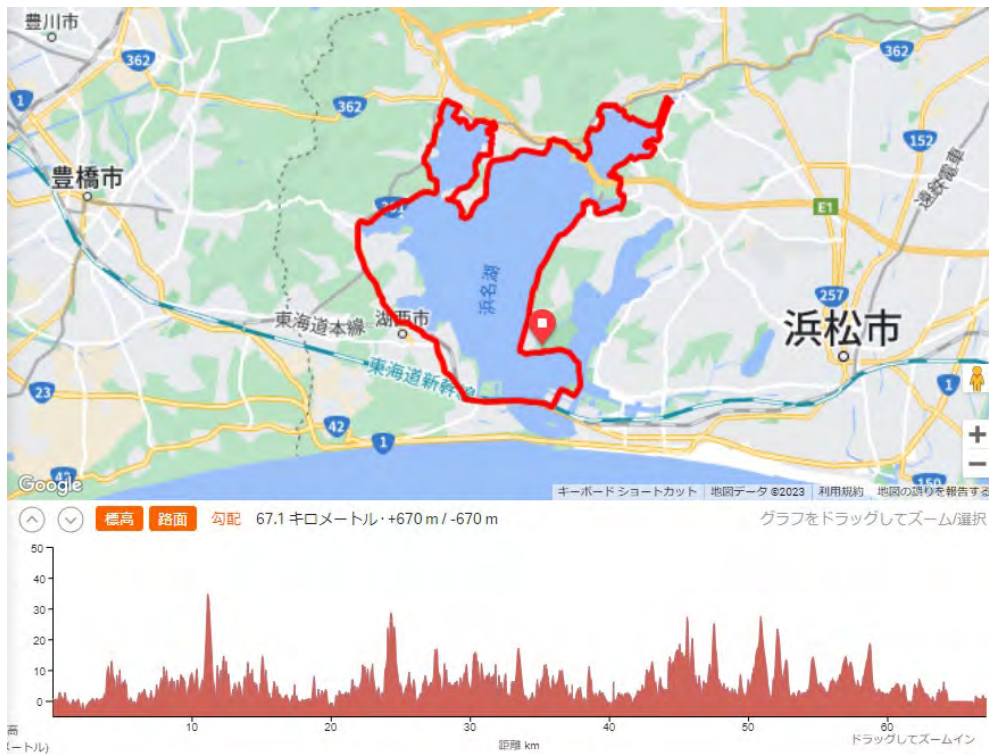
- 10. 公共の宿…天竜川・浜名湖地域には、湖畔の家以外にも公共の宿があります。
個人(①～②)の利用が勿論可能です。後泊用としてお勧めします。
 - ① 静岡県立森林公園「森の家」(個人) <https://morinoie.biz/>
 - ② 国民宿舎「奥浜名湖」(個人) <https://www.okuhamanako.jp/>
 - ③ 浜松市立天竜自然体験センター湖畔の家(10名以上団体) <http://kohan-daisuki.com/>



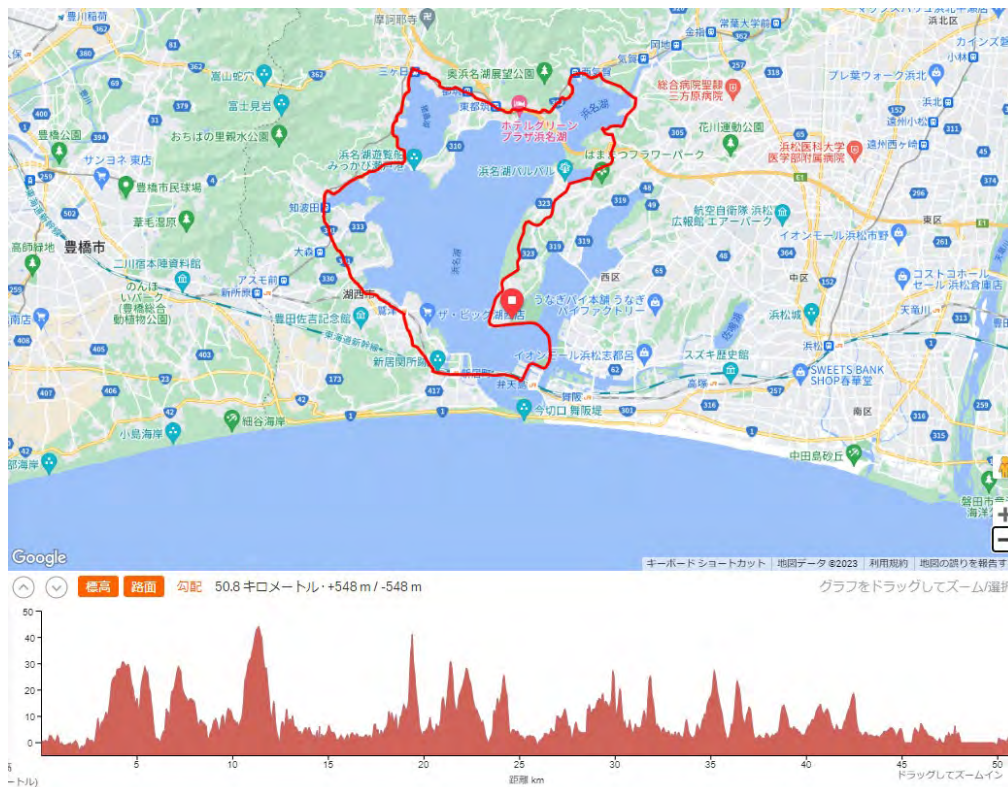
4. 附属書(参考資料)

4.1 浜名湖一周ライド

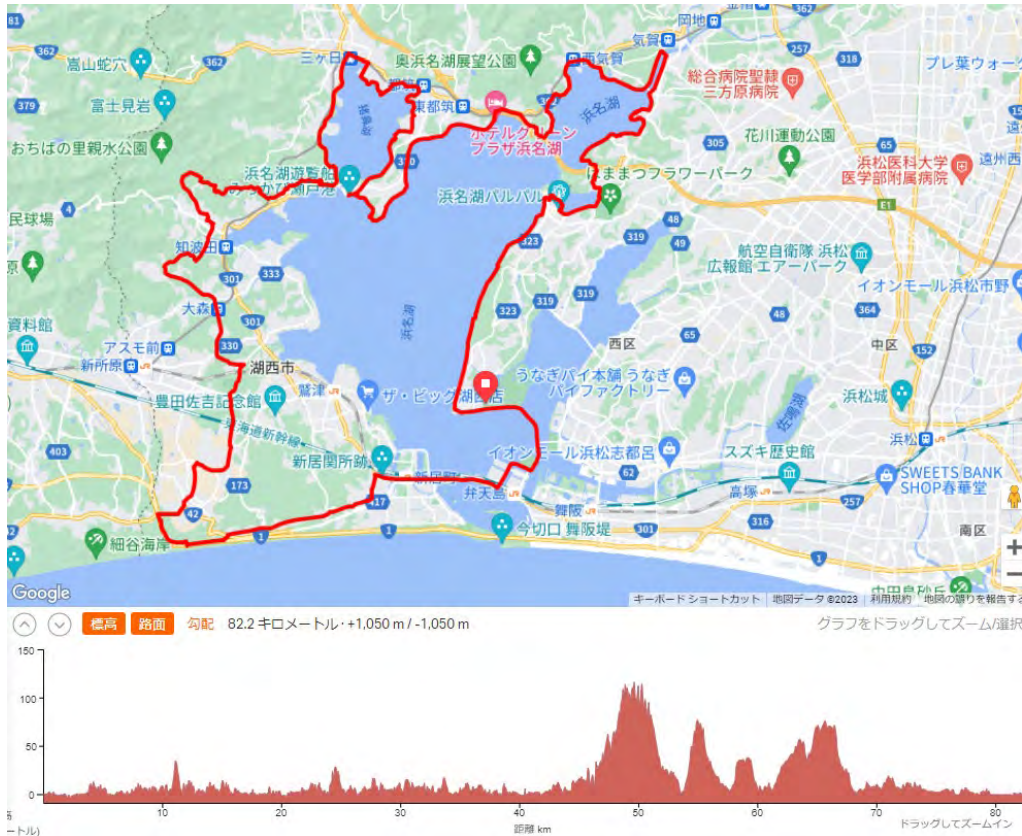
-1. 浜名湖一周ライドハマイチコース▶走行距離：約 65km 最大標高差：約 25m



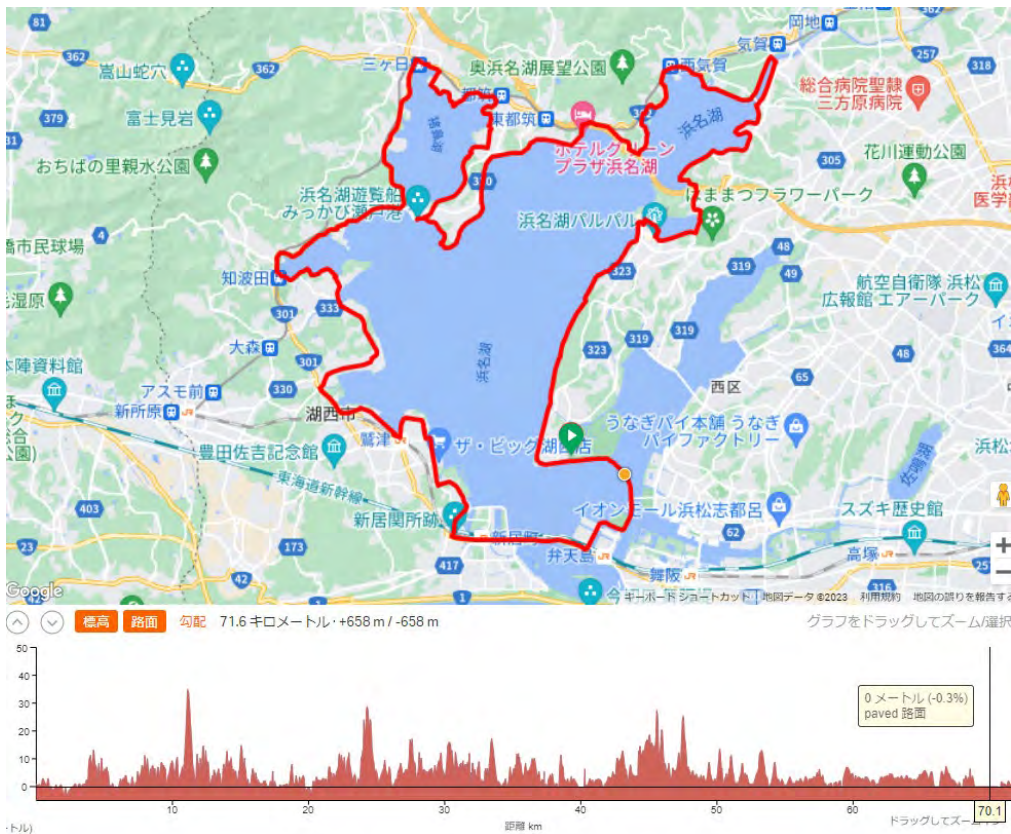
-2. ハマイチ・バイパスコース▶走行距離：約 50km 最大標高差：約 45m



-3. ハマイチ・グリーンコース▶走行距離：約 85km 最大標高差：約 105m



-4. ハマイチ・ブルコース▶走行距離：約 70km 最大標高差：約 25m



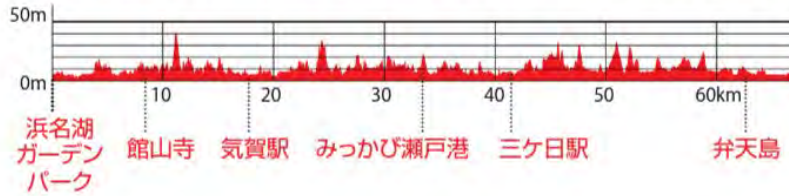


-5. ハマイチコース標高図

● ハマイチコース (浜名湖一周)

基本コース

走行距離:67.1km 登り獲得標高:670m コースタイム 約6時間

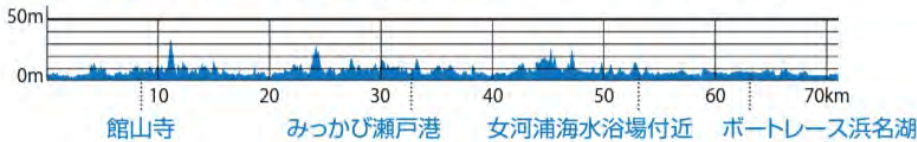


<https://ridewithgps.com/routes/35763236>

● ハマイチ・ブルーコース

サブコース

走行距離:71.6km 登り獲得標高:658m コースタイム 約6時間

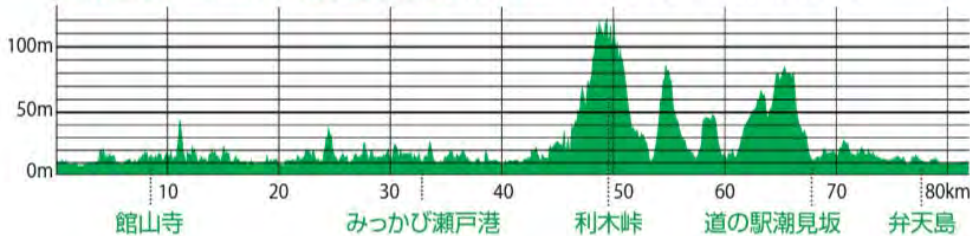


<https://ridewithgps.com/routes/35763259>

● ハマイチ・グリーンコース

サブコース

走行距離:82.2km 登り獲得標高:1050m コースタイム 約7時間

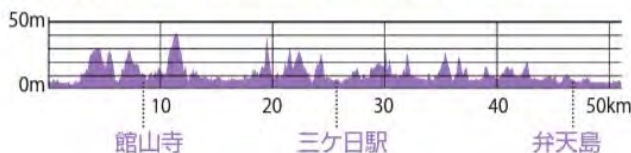


<https://ridewithgps.com/routes/35763257>

● ハマイチ・バイパスコース

サブコース

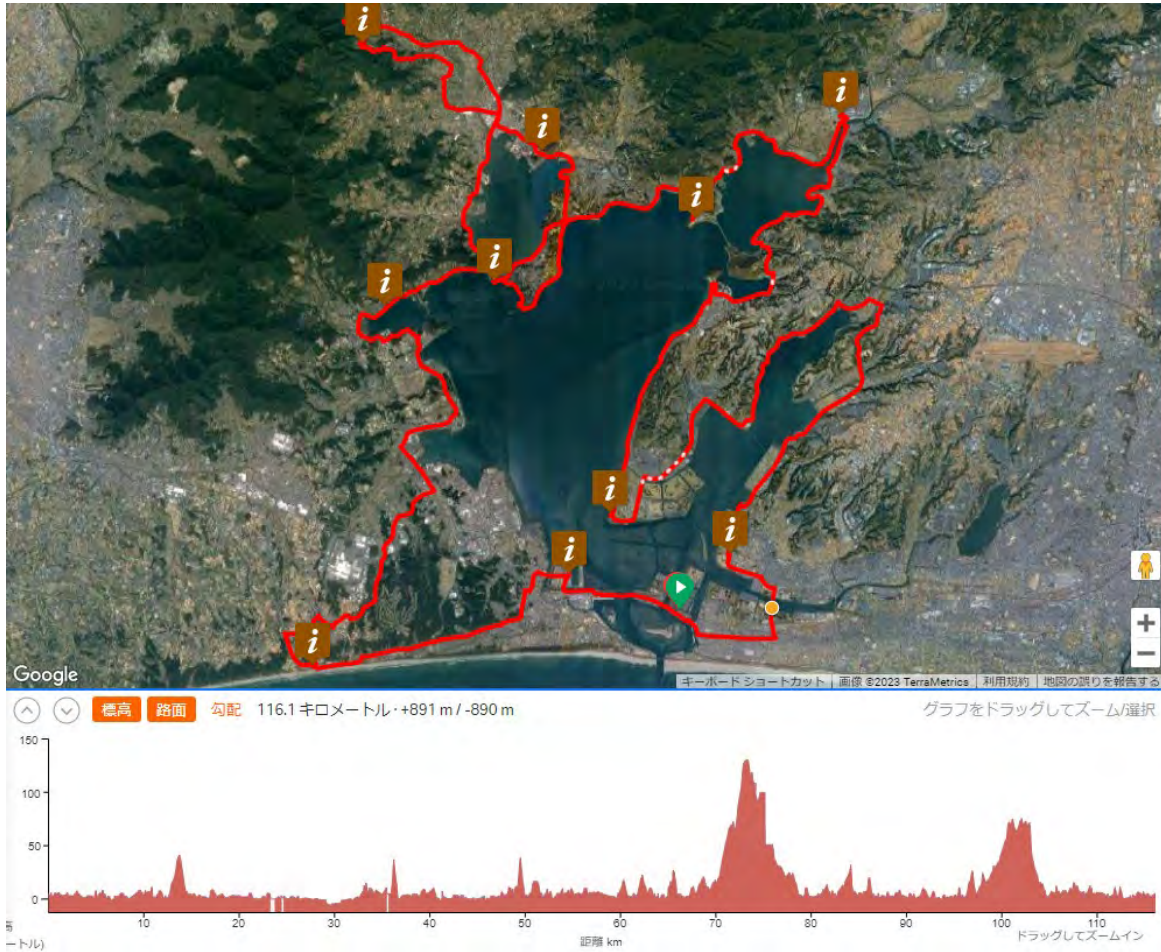
走行距離:50.8km 登り獲得標高:548m コースタイム 約5時間



<https://ridewithgps.com/routes/35763253>



4.2 グラン・ハマイチコース▶走行距離：120km



完走目安時間 08 時間 00 分想定／平均走行ペース 20km/h

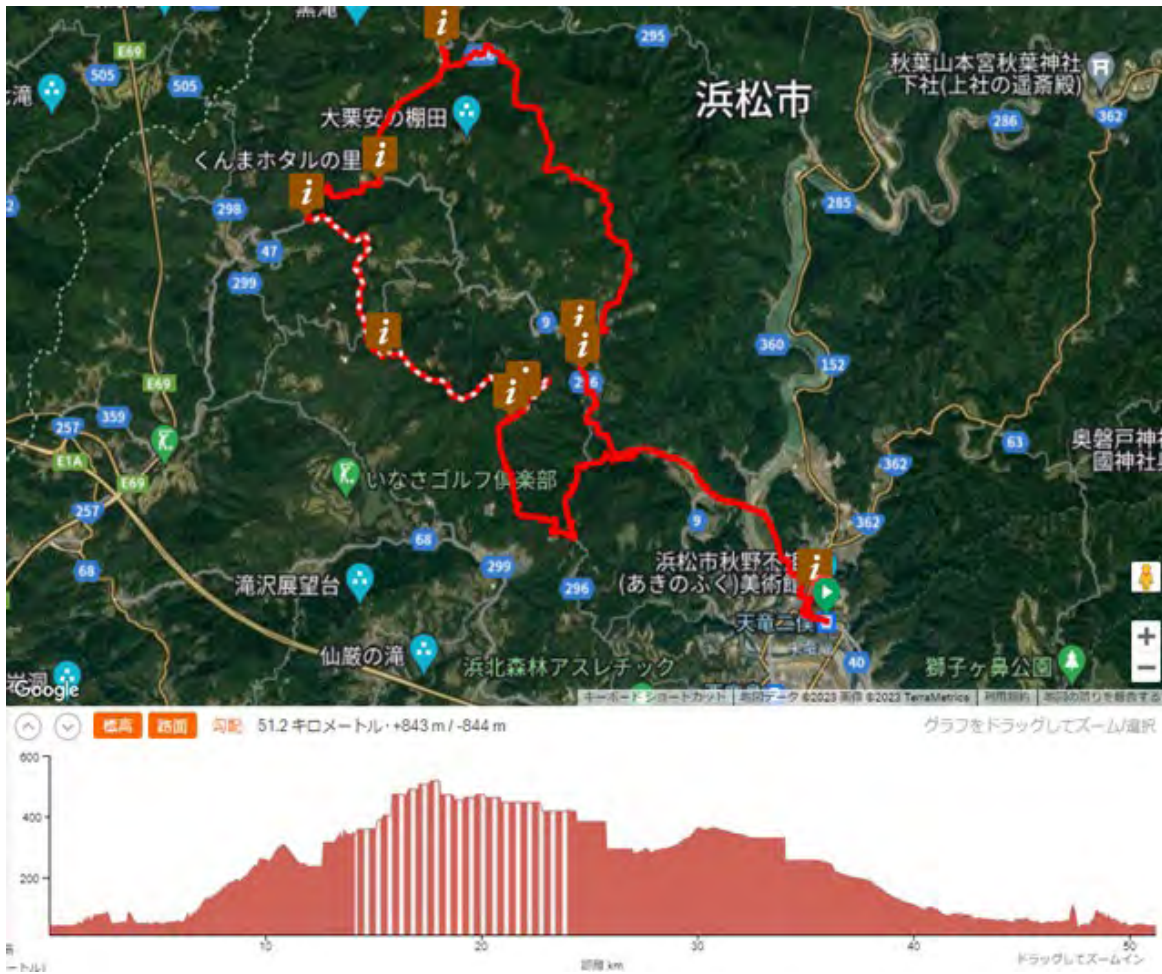
浜名湖の違った一面を

このコースは、ハマイチでは物足りない…そんな健脚サイクリストへ向けた浜名湖の違った魅力を楽しむことのできるコースです。最大の違いはコース中盤に約 5km のヒルクライムがあることです。平坦貴重なハマイチコースのアクセントとなっています。また、各立ち寄りスポットとなっているバイシクルピットには、うなぎやしらすなど食べ応えのあるご当地メニューが揃っているのでそれらを食べてつこのハードなコースのゴールを目指しましょう！

i 印は、Ride with GPSをデバイスで活用した場合に地名・道の駅などが表示されます。
標高、路面状況など含む。

出典: <https://ridewithgps.com/routes/31919159>

4.3 天竜グラベルコース▶走行距離：50km

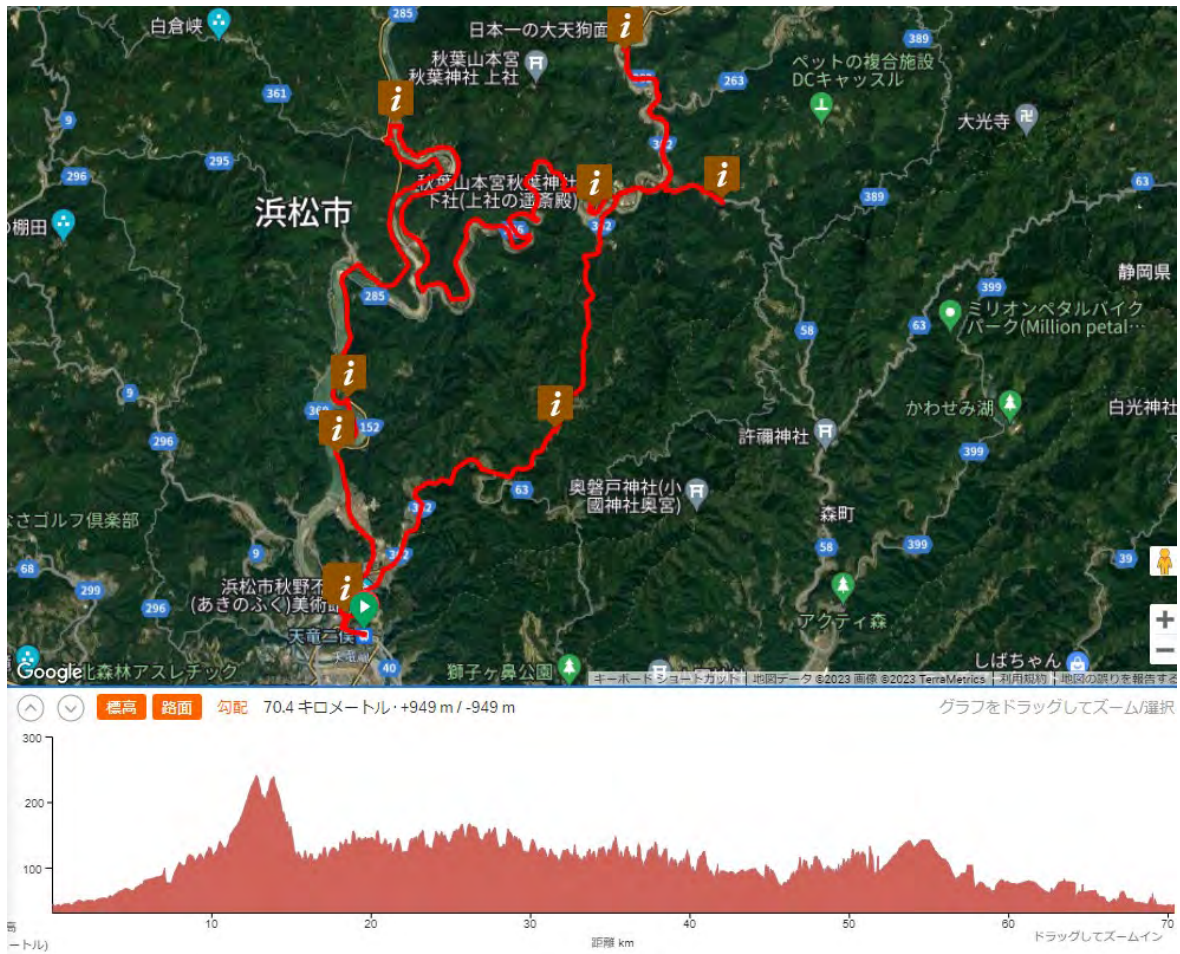


- ① 天竜二俣駅(有形文化財のノスタルジックな駅舎)▶13.6km ↓
- ② 石神見晴台▶0.3km ↓
- ③ 神明神社▶5.4km ↓ (グラベルの入り口)
- ④ 観音山トイレ▶7.8km (ほうろく峠頂上) ↓
- ⑤ くんまホタルの里▶3.5km ↓
- ⑥ 道の駅くんま水車の里▶10.7km ↓
- ⑦ 阿多古屋(古き良き時代を感じられる 一棟貸しの古民家)▶0.7km ↓
- ⑧ カネタ太田園(隠れた銘茶「天竜茶」) ▶8.5km ↓
- ⑨ 遠州中央農協「天竜山の市」▶0.8km ↓
- ⑩ 天竜二俣駅

出典: <https://jpymoon.com/ridetenryu-part1/>



4.4 天竜サイクルツーリズムコース▶走行距離：70km



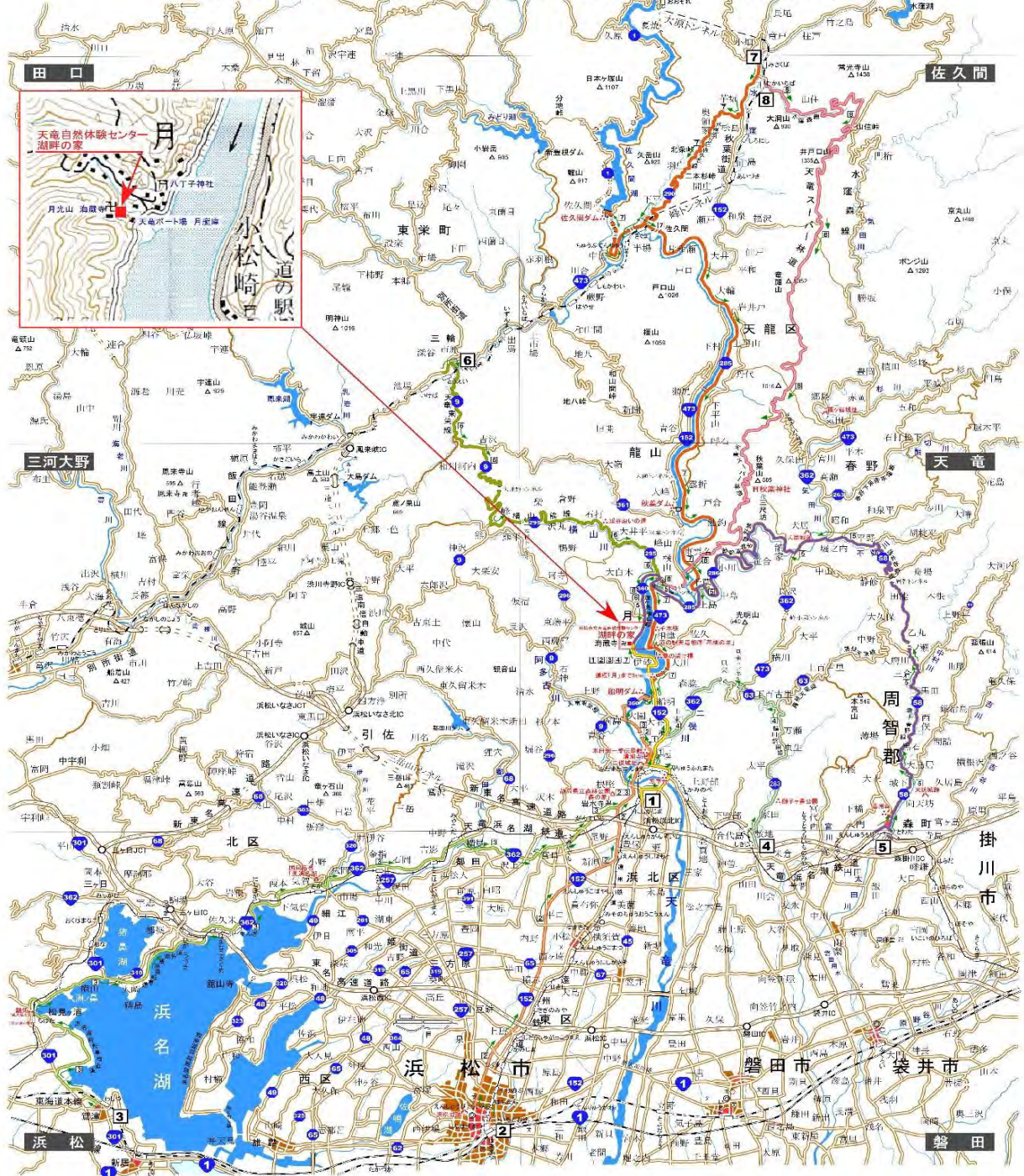
このコースは、天竜二俣駅を発着とし自然豊かな天竜をサイクリングで巡りつつ、立ち寄るスポットで天竜の景観・食・文化に触れ地域の多様な魅力を楽しむことのできるコースです。この地域の鹿肉などのジビエ、天狗伝説、ゲンジボタルなど他にはなかなかないユニークな魅力をご当地の風を感じられる自転車で満喫しましょう。

出典: https://www.app-tour-de-nippon.jp/course/?course_id=296



4.5 天竜区周辺案内図と走行コース(例)

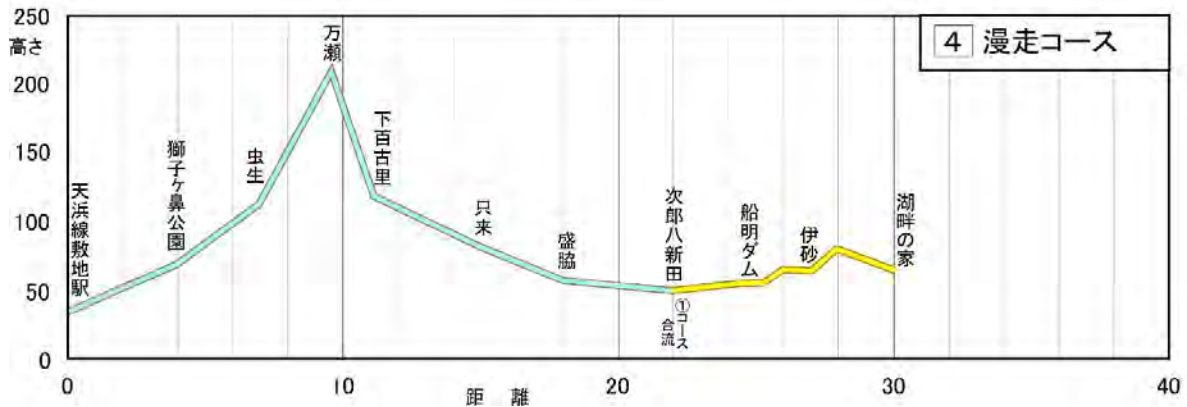
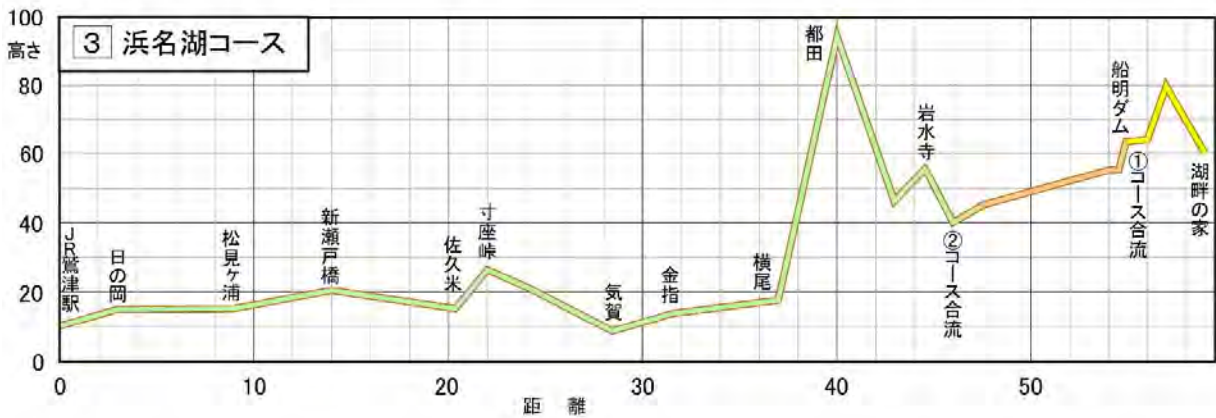
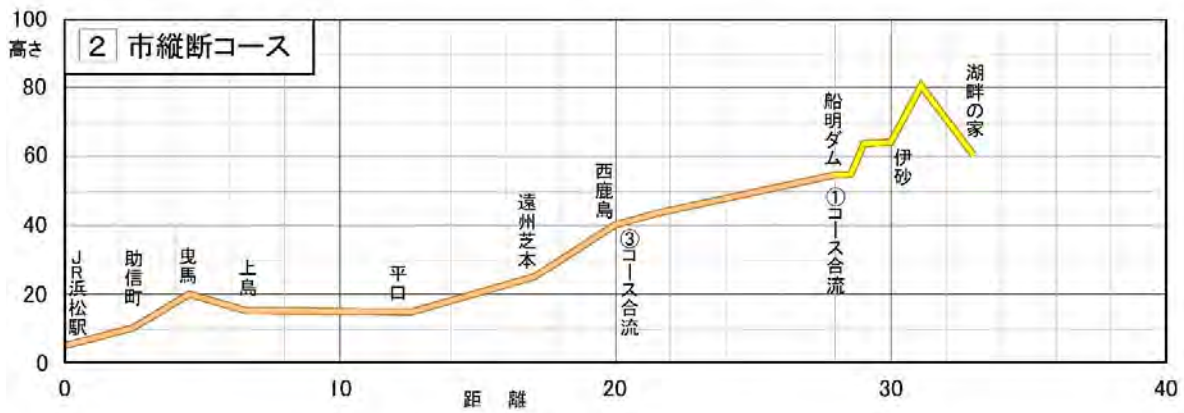
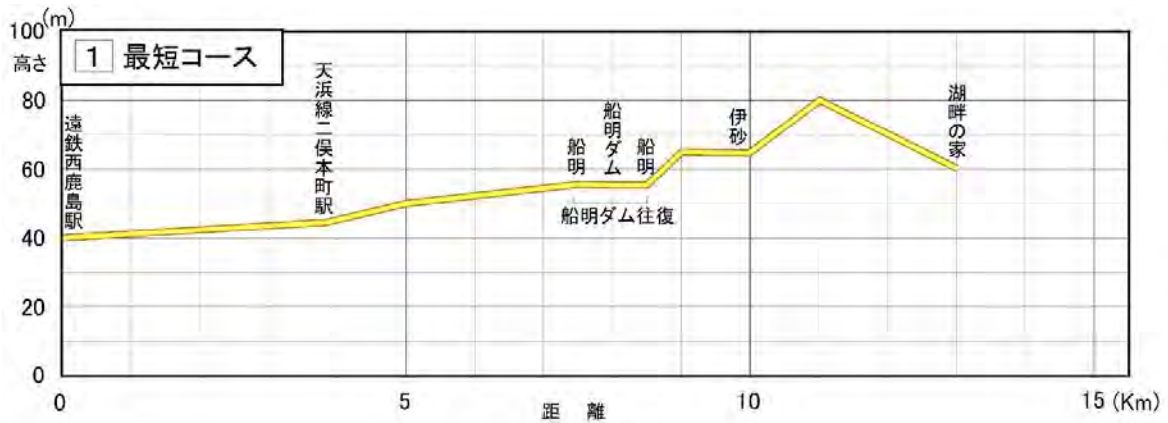
「湖畔の家」周辺案内図(第52回全国サイクリングクラブラリー)



コース走行例

- 1 最短コース・・・遠州鉄道西鹿島駅～天竜浜名湖鉄道天竜二俣駅～④コース合流点～船明～船明ダム～⑦コース合流点～湖畔の家・・・距離:13Km
- 2 浜松市街縦断コース・・・JR浜松駅～国道152号線北上～遠州鉄道遠州芝本駅～③コース合流点～二俣～大園～日明～船明ダム～①コースに合流(船明)～湖畔の家・・・距離:33Km
- 3 浜名湖半周コース・・・JR磐津駅～知波田～寸座～気賀～郡田～宮口～②コースに合流～湖畔の家・・・距離:59Km
- 4 漫走コース・・・天竜浜名湖鉄道敷地駅～太平～下百古里～只木トンネル～①コースに合流～湖畔の家・・・距離:30Km
- 5 健脚コース・・・天竜浜名湖鉄道遠州森駅又は伊勢織駅～城下～三倉～乙丸～平野～犬居～中島～⑦コース合流点～横山橋経由～湖畔の家・・・距離:51Km
- 6 山道溪谷コース・・・JR東栄駅～吉沢～大野地トンネル～峰～大井平～横山(⑦⑤コース合流点)～湖畔の家・・・距離:40Km
- 7 天竜川ダム巡りコース・・・JR水窪駅～芋堀～北条峠～二本杉峠～JR佐久間駅～(佐久間ダム往復)～JR佐久間駅～片和湖～下平山～重折～秋葉ダム～東雲名～⑧コースと交差～⑥コース合流点～①コース合流点(船明ダム往復)～伊砂～湖畔の家・・・距離:77Km(但し、佐久間ダム往復(11Km)、船明ダム往復(3Km)を含む)、JR佐久間駅出発の場合は20Km減)
- 8 林道コース・・・JR向市場駅～山住～山住峠～天竜スーパー林道を南下～秋葉神社入口～⑦コースと交差～⑥コースに合流～湖畔の家・・・距離:65Km

4.6 天竜区周辺案内図と走行コースプロフィールマップ





DAIWA
ROYAL
HOTEL

THE
HAMANAKO
Daiwa House Group

TEL.053-592-2222

〒431-0101 静岡県浜松市西区雄踏町山崎4396-1

TEL: 053-592-2222 FAX: 053-592-5522

<https://www.daiwaresort.jp/hamanako/>



THE HAMANAKO 検索 Wi-Fi 全館入ってます

ACCESS



- JR 東海道線舞阪駅より車で7分 (定時送迎あり)
- 東名浜松西 IC より車で約 20分

